

クラブ奉仕委員会 委員長 神 名 大 典

年度当初「ロータリーのロータリーたる所以はクラブ奉仕の実践にあり」を基本理念に、当クラブ創立以来のモットーである「親睦こそ我がクラブ」の理念のもとに、会員相互の親睦と友情を深め、楽しく有意義なクラブ運営を目指して出発しました。

しかし、現状はかつて経験したことのないコロナ禍の影響により、クラブ運営は大きく制約を受け、当初の計画の変更を余儀なくされました。

特に例会担当委員会は、例会内容の大幅な変更も余儀なくされ、それに伴い会員増強委員会や親睦委員会も大きく活動の制約を受けています。そのような中において、広報委員会や情報委員会の活動は会員の絆を保つために大きな役割を示すものと考えられ、これまで以上に大きな意義を持つと思います。

当委員会はクラブ運営の要であり、どのような状態にあっても、構成する各委員会と連携してクラブの活性化を図ると共に、クラブのビジョン、戦略計画を立案し、多様性・柔軟性に対応したクラブづくりを推進しなければなりません。

下半期も龍野ロータリークラブの将来像を見据えながら活動していきたいと思っております。

例会担当委員会 委員長 本 條 昇

今年度例会運営に当たっては新型コロナ蔓延防止に努め、会食並びにソング・唱和の中止、マスク着用、スクール形式配席、リモート参加等、かつてないスタイルを採り入れつつ理事会にて適宜、開催方法を検討・実施して参りました。残念乍ら12月については、地域の感染拡大状況に鑑み、やむなく例会休止の判断に至ったところです。

例会プログラムは、会員卓話と委員会アワーのバランスを考えて計画しましたが、予定行事中止に伴う変更が多々あり、柔軟に対応しました。関係各位には何かとご迷惑をお掛けした一方で、「クラブサービス部門担当委員会報告」や「SAAアワー」といった新たな試みの好機となりました。

この間、会長・幹事はじめ会員の皆様には、様々なご不便、イレギュラーにも快くご協力、ご高配を賜り、お陰様で有意義な例会を開催できましたこと、厚く御礼申し上げます。

会員増強委員会 委員長 崎 野 圭 子

基本方針のR I会長テーマ『ロータリーの機会の扉を開く』、中村会長方針『現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員増強』のもと；

8月20日の委員会アワーでは、アプローチリスト（前年委員会作成2020. 2. 22更新版）を参照し3地域に分かれて、情報交換・リストの追加・修正をしました。

その後、各地区アドバイザー（山崎地区：上林委員、新宮地区：木津委員、旧龍野地区：浅井（昌）会員、揖保川・太子・御津地区：永富会員）に確認いただきました。

まず、各地域まず候補者お一人に絞り込み、訪問を！という段階ですが、コロナ感染拡大中につき、適切な訪問時期まで待機中です。委員会スローガンの『動いてみよう！』を一日も早く実現できますようお願いしております。

皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

親睦委員会 委員長 一 色 かつみ

本年度上半期の親睦委員会は、設立当初からの「親睦こそ我がクラブ」の活動理念を継承し、クラブ内の円滑な運営と会員相互の友情と親睦を深めることに寄与したいと考え、観月例会・クリスマス家族例会など様々な親睦行事を計画しておりました。

しかし、会員並びにご家族の健康・安全を重視し、また理事会にて十分にご検討を頂き、残念ながら、いずれも実行されませんでした。西播地域においても爆発的と言えるほどの感染拡大となった今、会長はじめ理事の皆さまの潔い決断であったと、龍野RCの行事では無事感染者を出さずにすんでいることを感謝しております。

残る下半期には、何かひとつでも親睦行事ができることを祈るばかりです。その折りは、心に残る事業を企画して行きたいと存じます。

なお、休会が継続しており暫くお会いすることは叶いませんが、各種お祝いは、それぞれご自宅にお届けさせて頂きますので、楽しみにお待ち下さいませ。

広報委員会 委員長 永 富 靖

例会記録や各委員会の活動を週報として発行していますが、新型コロナウイルス感染拡大により、12月より例会が休会となり、週報を特別号として発行しました。

今後、休会中の週報やホームページの活用を考えていきたいと思っておりますのでご意見をお寄せ下さい。

新型コロナウイルスの収束と例会の再開を願っています。

情報委員会 委員長 三 木 政 司

ロータリー情報委員会として、上半期において新型コロナの影響で十分な活動を行えなかったことを、先ず以てお詫び致します。

12月に実施する予定であったロータリー情報委員会アワーも、例会休会にてやむなく中止となりました。

また、新入会員へのオリエンテーションも対象者がなかったため実施しませんでした。前事業年度からの持ち越しで1件実施致しました。

今後例会の状況を勘案し、適時にロータリー情報を提供していきたいと思っています。

職業奉仕委員会 委員長 喜多村 隆 博

本年度上半期において、活動はほとんどできない状況でしたが、唯一、地区職業奉仕セミナーへ参加をする事が出来ました。

講師はR I 2620地区（山梨・静岡）のガバナーエレクト 小林総一郎様です。ロータリーの正統「日本の職業奉仕」と題して…

『職業奉仕は ロータリーの独自概念で、事業者 経営者が持つべき普遍的哲学を持ち、毎日の仕事の中で実践し、生活の中で自分に利するもの。職業奉仕の自転と公転：毎日の生活の中で、「職業奉仕の理念」（太陽に例え）の周りを、（地球に例え）自転（＝自分の職業に奉仕）しながら、公転（＝自分の職業で他人に奉仕）していくことである』といったお話がありました。適正な利潤を得て、自分の職業を通してサービスを施し、自分以外のために尽くす事こそが職業奉仕であると改めて理解を深めることが出来ました。

社会奉仕委員会 委員長 高 田 真 也

昨年からの世界のコロナ対応で浮き彫りになった社会構造の問題点は、個人によってコロナ恐怖感度が大きく違っていることと、集団が敏感な方へ引っ張られて全体としてパニックになったときの恐ろしさではないでしょうか。個々のロータリーメンバーは皆さんが普段からリーダーであると思っておりますが、このような有事に際して、ロータリークラブの社会奉仕としてどのようなリーダーシップが発揮できるのか、今回の医療機関のような問題対応の最前線への機動的な支援の仕組みづくりなのか、炊き出しなのか、またそれがロータリーの仕事なのか、考えさせられました。

国際奉仕委員会 委員長 藤村 哲朗

本年度上半期の国際奉仕委員会は、『国際間理解と親善と平和を推進し、各国の相互理解と友情が深まるような事業を進める』を基本方針とし、世界平和につながるような活動を模索してきました。

グローバル補助金（V T T）プロジェクト、カンボジア病理技師研修及び学会設立支援（神戸東R C提唱）に協同提唱することを決定し、2月25日の国際奉仕委員会アワーでは、地区国際奉仕委員会からグローバル補助金の活用方法等についてのスピーチをお願いする予定にしております。

財団委員会 委員長 荻野 正和

① 米山月間委員会アワー（2020. 10. 1）

米山記念奨学生の卓話を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により派遣卓話は中止となり、DVDにて米山記念奨学生の紹介をしました。

② 財団委員会アワー（2020. 11. 19）

10月30日に開催された地区財団委員会セミナーの中から、丸尾研一委員長のご講演の内容を画像にて会員の皆様にご覧いただきました。

③ 募金活動

皆様のご理解により下記の通り集まりました。コロナ禍の大変な状況にもかかわらず、会員の皆様のご厚意をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

米山奨学金特別寄付	310,000円
ロータリー財団年次基金	640,440円
ロータリー財団ポリオ基金	100,440円

